

年 組 名前:

県教委企画 中高生10人 富士吉田で初合宿



話し合いながら問題に取り組む参加者ら—富士吉田市新屋5丁目

数学人材発掘世界へ

県教委は本年度、県内の中高生を対象に数学の専門性を高め、世界で活躍できるような人材発掘を目指した育成事業に取り組んでいる。10、12日は、富士吉田市内の研修施設に中高生10人が集まり、数学の講義を受ける特別合宿を初めて実施。生徒は「たくさんの考え方を学びたい」と意欲を燃やしている。

〈赤池悠〉

事業は、22年度に始まったスポーツ分野に特化した、アスリート発掘事業（甲斐人（かいたいじん）の一撃）の一環。県教委は本年度から、同事業を科学技術や文化芸術の領域に拡張して行っている。数学分野では、県内の中高生から希望者を募り、試験で10人を選考。10人は中学3年（高校2年で、数学に特化した勉強合宿やワークショップ）に参加した上で、11月に行われる日本数学オリンピック予選に出場する。合宿やワークショップでは、数学オリ

(2025年8月11日付
山梨日日新聞18面)

ック財団（東京都）に所属する研究者や大学院生が講師を務める。合宿初日の10日は、互いに好きな数を発表し合うなどの自己紹介で始まった。過去に日本代表として国際大会に3度出場した経験があり、財団理事で下関市立大データサイエンス学部の近藤宏樹准教授が講師を務め、数学オリンピックについて説明。実際に出題された問題について解説しながら、数学の解法や考え方を伝えた。合宿以外で、8、11月に4回のワークショップも行う。甲府東高2年の宮武舞さんは「学校以外で数学について学ぶ場がなかった。どんどん新たな知識を吸収したい」と語り、吉田高2年の希代凜さんは「数学に興味のある人たちと共に学べる機会はとても楽しい。成長したい」と話した。

問1

山梨県教育委員会は、県内の中高生を対象に、何を高め、どのような人材発掘を目指した育成事業に取り組んでいますか。

.....

問2

数学分野で選考された10人は、数学に特化した勉強合宿などに参加して、何に出場する予定ですか。

.....

問3

本来は、スポーツ分野に特化したアスリート発掘事業でしたが、科学技術や文化芸術の領域に拡張しています。あなたなら、何に特化した講座を受講したいですか。その理由も教えてください。

・受講したい講座:

・その理由: